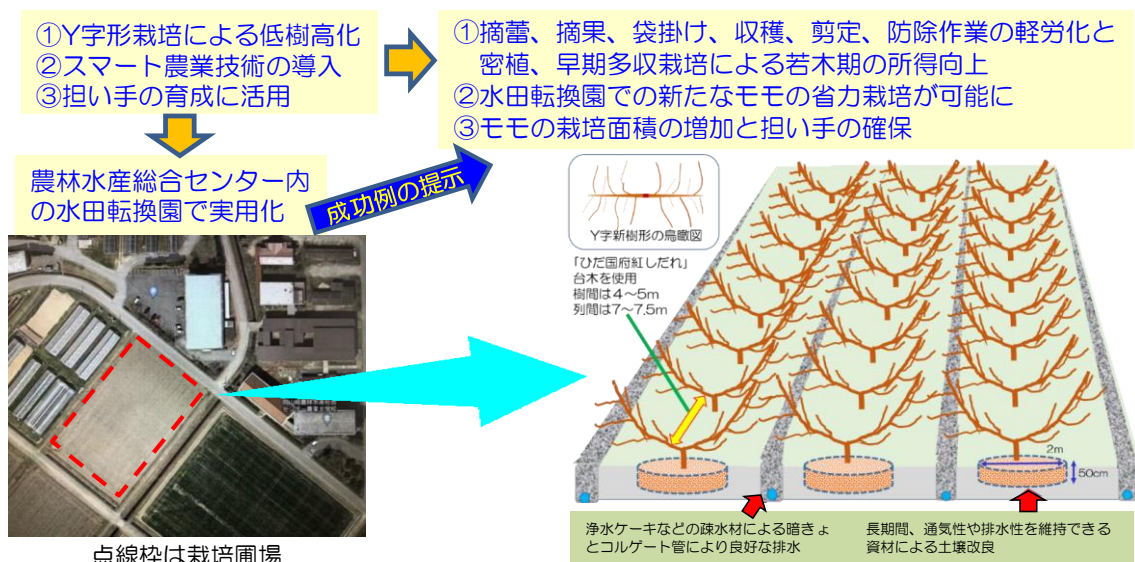


課題名：モモのスマート栽培システムの実用化と担い手の育成(令 7～11)

内容：モモの供給力を強化するためには、栽培面積の大規模化と担い手の確保が重要です。作業性の優れる水田転換園に省力・軽労化技術である Y 字形栽培を導入することで、面積の拡大が容易になると考えられるものの、「清水白桃」以外の品種では、Y 字形栽培での検討ができていません。また、Y 字形栽培によって就農初期の収入が確保され、さらに、音響振動装置やドローンなどのスマート農業技術の導入によって栽培管理が容易となり、女性や高齢者、未経験者が取り組みやすくなると考えられます。そこで、Y 字形栽培とスマート農業技術を組み合わせた、水田転換園におけるモモ省力栽培の実用化試験に取り組むとともに、本研究圃場を担い手の省力栽培技術習得の場として活用します。



[果樹研究室HPへ](#)
[農業研究所HPへ](#)